

主要産地における平成27年産水稻の生育状況等について 第2報 (5月30日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成27年6月1日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道		<p>(全道) 生育はやや早い (早3日)、移植作業は平年並に始まっている (早1日)。 日照時間は多かったことから、耕起など春作業は順調に推移している。 (北海道農政課 5月15日現在)</p> <p>(空知) 4月下旬の好天により苗の生育は順調で、草丈・葉数は平年を上回っている (早4日)。移植作業も平年より早まる見込み。 (空知総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(石狩) 平年より草丈・葉数ともに生育が進んでいる (早5日が、一部に徒長が見られる。一部では移植が始まっている)。 (石狩総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(後志) 苗の生育は平年より2日程度すすみ、本田の準備も順調に進んでいる。一部では移植が始まり、移植の進捗率は2%。 (後志総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(胆振) 苗の生育は平年並 (早2日)、一部地域で、移植作業 (田植え) が始まった。(胆振総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(日高) 苗の生育は平年並み (早1日) (日高総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(渡島) 苗の生育は平年並に推移。出芽は2日早い。(渡島総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(樺山) 苗の生育は平年並である。出芽は北部南部ともに100% (樺山振興局 5月15日現在)</p> <p>(上川) 気温が高く経過したことから、苗の生育は平年よりやや早く推移している (早3日)。(上川総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(留萌) 苗の生育は平年よりやや早まった (早4日)。出芽期は4月24日 (留萌振興局 5月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 苗の生育はやや進んでいる (早3日)。出芽期は4月26日 (オホーツク総合振興局 5月15日現在)</p> <p>道南農業試験場圃場での、さらさら97、ふっくりんこ、なつぼしの生育は「やや良」 (5月20日現在) (道南農業試験場)</p>	<p>5月のばか苗病の発生量は並、苗立枯細菌病・褐色病の発生量はやや少、苗立枯病の発生量はやや少の予報 (北海道病害虫防除所 4月30日公表)</p>
青森	(田植)	<p>- 5月25日現在の田植進捗状況は、県全体で93%となっており、平年より10ポイント高かった。 県全体の田植進捗は平年より1日早い5月15日。最盛期は5月20日であった。 <地区別進捗状況> (東青) 84% (中南) 94% (西北) 97% (上北) 93% (下北) 61% (三八) 88% (青森県 5月26日付)</p> <p>- 黒石の移植時の苗は、「つがるロマン」は草丈が19.0cmで平年より0.9cm長く、葉数は3.4葉で0.2葉多かった。「青天の霹靂」は「つがるロマン」と比べ、草丈が2.1cm長く、葉数は0.2葉少なかった。十和田の「まっしぐら」は、移植時の苗は草丈が17.5cmで1.6cm長く、葉数は3.0葉で平年並み。黒石、十和田とも、病害の発生は見られなかった。 (青森県産産技術センター農林総合研究所 5月25日付)</p>	<p>5月の真菌性苗立枯病の発生量ははやや少ない、細菌性苗立枯病の発生量ははやや多い、ばか苗病の発生量ははやや少ない、イネミズゾウムシの発生量ははやや少ない、イネドロオウムシの発生量は平年並みの予報 (青森県病害虫防除所 4月28日公表)</p>
岩手	(田植)	<p>- 5月20日現在、県全体の田植進捗率は74%。田植え最盛期は5月15日頃と見込まれ、平年より2日程度早く進んでいるとみられる。 地域別の田植進捗率は、北上川下流および東部では83%と田植え最盛期に近づいている。北上川上流は58%で田植え最盛期を、北部は24%で田植え最盛期を過ぎている。各地域とも順調に田植えが行われており、適期内 (5月15日～25日) には最盛期を迎える見込みと見込まれる。(中央農業改良普及センター県域普及グループ 5月20日調査)</p>	<p>アサジカスミカメ越冬世代幼虫のふ化最盛期が平年よりかなり早まると予想 (岩手県病害虫防除所 5月11日公表)</p> <p>5月のもみ枯細菌病と苗立枯細菌病の発生量ははやや多、苗立枯病の発生量は平年並、ばか苗病の発生量は少、苗いもち病の発生量ははやや多、イネミズゾウムシの発生量ははやや少、イネドロオウムシの発生量は少の予報 (岩手県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
宮城	(田植)	<p>- 5月6日現在、県全体の田植進捗率は25.4%で、前年同期 (17.7%) と比較して進んでいる状況。苗の生育は概ね良好で、好天に恵まれ田植作業は順調に進行している。 <地区別進捗状況> (大河原) 22.4% (大崎) 29.5% (登米) 15.4% (気仙沼) 0.6% (仙台) 28.6% (栗原) 8.6% (石巻) 49.1% (宮城県 5月8日付)</p>	<p>- 5月末～6月初めのイネミズゾウムシの発生時期はやや早く発生量ははやや多い見込み。 5月末～6月初めのイネドロオウムシの発生時期はやや早く発生量ははやや多い見込み。 (宮城県病害虫防除所 5月22日公表)</p>
秋田	(田植)	<p>(鹿角) 5月20日現在の田植作業の進捗率は44.6% (平年47.4%) で、ほぼ平年並に進んでいる。(5月22日付)</p> <p>(北秋田) 5月20日現在の田植の作業進捗率は51.4%。田植え最盛期は5月20日と平年より1日早く進んでいる。(5月22日付)</p> <p>(山本) 田植作業は5月18日に最盛期を迎えた (平年5月19日)。5月20日現在の田植作業の進捗率は、61.2% (平年57.8%) となっている。(5月22日付)</p> <p>(秋田) 5月20日現在の田植作業の進捗率は、72.0% (平年72.8%) となっている。田植作業の最盛期 (進捗率50%) は平年より1日早い5月17日となった (5月22日付)</p> <p>(由利) 好天が続く苗の生育がすすみ、田植作業の最盛期 (進捗率50%) は平年より1日早い5月16日となった。5月20日現在、田植作業の進捗率は65%と盛んに行われている。直播栽培における播種作業はほぼ完了し、終期 (進捗率95%) は平年より2日遅い5月20日となった。早く播種したところでは、出芽が見られている。(5月22日付)</p> <p>(仙北) 田植作業は5月20日現在で34.2% (平年25.7%) の進捗となっている。最盛期は今週末となる見込み。直播栽培は、5月16日に最盛期 (平年比遅1日) を迎えており、5月20日現在の進捗率は80.3%。(5月23日付)</p> <p>(平鹿) 平鹿管内の移植作業の始期 (進捗率5%) は、平年より2日早い5月17日となった。23～24日が移植の最盛期となる見込み。(5月22日付)</p> <p>(雄勝) 田植作業の始期は、5月17日で平年より3日早くなった。(5月22日付) (秋田県農林政策課)</p>	<p>- 6月の葉いもちの発生時期はやや少ない、ばか苗病の発生量は多い、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は少ない、イネミギワバエの発生量は多い、ニカメイガの発生量は少ない、斑点カメムシ類は発生時期が早く発生量は多い、フタオビコヤガの発生量ははやや少ないと予報 (秋田県病害虫防除所 5月28日公表)</p> <p>- 注意報 5月19日の調査の結果、イネミギワバエの発生量が全県で多いと予報 (秋田県病害虫防除所 5月21日公表)</p>
山形	(育苗・田植)	<p>(最上) 4月からの好天で作業は順調に進み、一部では高温により苗の生育の進みが早くなっている。圃場の乾燥が進み、耕起作業は平年より早く進んでいる。乾土効果が大きいと予想される。(最上総合支庁 5月11日付)</p> <p>(置賜) 高温により苗の生育が進み、徒長苗となっている。耕起が早かった場合は乾土効果が期待される。田植えの適期は5月15日～20日頃。つや姫の田植え時期の目標は5月20日まで (置賜総合支庁 5月11日付)</p> <p>(庄内) 4月22日からの高温のため苗の葉数展開や伸長が早まり、苗の老化が懸念される。移植適期は5月10日～20日頃 (庄内総合支庁 5月1日付)</p> <p>(北村山) 高温により、苗はやや徒長きみ。つや姫の田植え時期の目標は5月20日頃まで。 (村山総合支庁北村山農業技術普及課 5月8日付)</p> <p>(酒田) 乾田V溝直播栽培は、天候に恵まれ4月中旬に播種を完了できたものと思われる。 つや姫の耕起作業は、4月22日以降晴れの日が連続し、平年に比べ2日程度早く終了した。昨年に引き続き乾土効果が期待できる状況。苗の生育は概ね順調。5月9～15日頃が田植え適期 (庄内総合支庁酒田農業技術普及課 5月1日付)</p> <p>(南村山) 適期出穂を確保するため、つや姫の移植は5月20日までと指導 (山形の米日本推進運動村山地域本部 4月30日付)</p>	<p>- 6月の葉いもちの発生時期及び発生量は平年並、斑点カメムシ類の発生量ははやや多い、フタオビコヤガ (第1世代) の発生時期は早く、発生量は平年並の予報 (山形県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
福島	(育苗・田植)	<p>- 移植栽培用の播種作業最盛期は、平年より1日遅い4月25日。湛水直播栽培では4月下旬から播種作業を開始、移植栽培も早いところでは4月下旬から田植えが始まっている。(福島県農林水産部 5月11日付)</p>	<p>苗立枯病の発生量は平年並、もみ枯細菌病・苗立枯細菌病の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生時期はやや遅く発生量ははやや少ない、イネヒメハモグリバエの発生量は平年並の予報 (福島県病害虫防除所 4月24日公表)</p>
茨城			<p>本田でのイネミズゾウムシの生息数のピークは県南・県西地域では5月中旬、県北・県東・鹿行地域では5月下旬～6月上旬と予報 (茨城県病害虫防除所 4月28日公表)</p>
栃木			<p>- 5月下旬から6月下旬の結実枯病の発生量ははやや多、いもち病の発生量は少、イネミズゾウムシの発生量ははやや多の予報 (栃木県農業環境指導センター 5月22日公表)</p>
埼玉	(田植)	<p>(加須) 早期栽培コンシバリ産地の加須市北川辺地区では、4月11日から始まった田植えが、4月18日から本格的になっている。田植えは例年4月末には終わる予定。育苗中の天候が曇り、気温は低く推移したが、適切な保温管理が行われた結果、良質な苗が準備できている (加須農林振興センター 4月27日付)</p>	<p>- 6月のいもち病の発生量は少、イネドロオウムシの本田での発生量は平年より多、ヒメトビウシの第1世代幼虫の発生量は平年並と予報。結実枯病の発生量は多いと予報 (埼玉県病害虫防除所 5月28日公表)</p>
千葉	(生育)	<p>- 苗の生育は概ね順調。移植後は4月中旬から続く高温多湿傾向のため生育は早く、特に4月20日頃までに移植したほ場では葉数が非常に多くなり、旺盛な生育となっている。5月以降に移植した一部のほ場では、台風の影響等により、一時的な生育停滞が見られる。(千葉県農林水産部 5月22日付)</p>	<p>- 向こう1か月間の発生量は、いもち病は並、イネヒメハモグリバエは少、イネミズゾウムシは多、イネドロオウムシはやや多、イネクロカメムシは平年並、ジャンボタニシは平年並の予報 (千葉県農林総合研究センター 5月14日公表)</p>

生育状況等		
新潟	<p>・5月28日現在、平野部・山間とも生育は順調に推移している。田植え後の気温が平年より高く推移しており、コシヒカリ・こしいぶきとも生育は順調。コシヒカリは、県平均では草丈は「並」、葉数は「並」、葉数の進みは「並」。こしいぶきは、県平均では草丈は「やや短」、葉数は「やや多」、葉数の進みは「並」。(新潟県農林水産部 5月29日付)</p> <p>・コシヒカリの移植は5月10日以降、多収性専用品種のゆききん子舞の移植は5月上旬を指導 (新潟県農林水産部 4月28日付)</p> <p>(生育) (新発田) 移植後の活着は、平年に比べ連休植えでやや良、適期(5/10以降)植えで並。田植え以降の好天で、葉数の進みや草丈伸長は旺盛。ただし、本年は老化苗傾向で苗質がやや不良であったこと、5月13日以降の断続的な強風に より初期分けつぎの発生はやや少なめ。</p> <p>(新 潟) 生育状況は目標に比べ、草丈「並」、葉数「やや多い」、葉齢「並～やや早い」となっている。田植え後の気象は気温が高く、日照も多く推移し、生育は概ね順調。(5月28日付) (新潟県農業普及指導センター)</p> <p>(長 岡) 移植盛期は5月10日頃で平年並み。高温多照条件下でおおむね生育は並となっている。定点調査ほのコシヒカリは、平場が指標値に比べ草丈93%、葉数94%、葉数が+0.3葉となっている。中山間地は移植直後から活着始めの状態。</p> <p>(三 条) 4月下旬からの好天により、初期生育は順調。コシヒカリの生育は順調で分けつぎの発生が見られる。こしいぶきは葉数が進み、分けつぎが着実に増えている。(三条県農業普及指導センター 5月28日付)</p> <p>(柏 崎) 5月29日現在、平野地コシヒカリは理想値と比べて、草丈：やや短、葉数：やや少、葉数：やや少、生育はやや遅れ、分けつぎは始まっていない。こしいぶきの生育は順調。(柏崎県農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(上 越) 初期生育は、5月が好天に恵まれたことから植え傷みは少なく良好。5/28現在のコシヒカリ生育は、草丈：並(96%)、葉数：並(98%)、葉数：多い(+0.7葉)。こしいぶきの生育は、コシヒカリと同様に、順調に進んでいる。 (上越県農業普及指導センター 5月28日付)</p>	<p>・5月のイネドロオウムシ及びイネミズゾウムシの発生量は平年並、発生時期はやや早い予報 (新潟県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
富山	<p>(生育) ・本田での生育状況 (こしヒカリ) 草丈、葉数、葉齢展開は平年並みとなっている。分けつぎの発生は、まだ少ない。 (てんこもり) 平年に比べ、草丈はやや長く、葉数はやや少なくなっている。 (富山県 TACS情報第1号 5月26日付)</p>	<p>・5月のイネミズゾウムシの発生量はやや多い、イネドロオウムシ及びイネゾウムシの発生量は少ないと予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月1日公表)</p>
石川	<p>(生育) ・田植え始期は、加賀地区で4月28日頃、能登地区で4月30日、田植盛期は、加賀地区、能登地区とも5月3日となり、県全体の田植盛期は5月3日と平年に比べ1日早くなった。強風の影響等から一部で葉先枯れが散見される圃場があったものの、田植え後は概ね好天となり、活着は良好で、生育は順調である。草丈はコシヒカリで平年よりやや長く、ゆめみづほは平年よりも長くなった(コシヒカリ：加算105%、能登108%、ゆめみづほ：加算113%、能登117%)、葉数展開は、平年に比べやや早い(+0.1～+0.2葉)、分けつぎの発生は、田植えの早い圃場(4月下旬～5月初旬)で確認されている。 (石川県農林総合研究センター 5月18日調査)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は並、イネドロオウムシ幼虫の発生量はやや少 ・本田外での斑点米カメシ類幼虫の発生はやや多と予報 (石川県農林総合研究センター 5月28日公表)</p>
福井	<p>(生育) ・5月は好天に恵まれ、ハナエゼン、コシヒカリとも活着は良好。高温の影響により、ハナエゼンの生育はやや早まっており、生育量は平年並みからやや旺盛。直播栽培についても苗立ちは良好。(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月22日付)</p>	<p>・6月の葉いもちの発生量は平年より少なく前年並、紋枯病の発生量は平年並で前年より多い、ニカメイガの発生量は平年より少なく前年並、イネミズゾウムシの発生量は平年より少なく前年より多い、イネゾウムシの発生量は平年より少なく前年よりやや多い、イネドロオウムシの発生量は平年より少なく前年並、イネハモグリバエの発生量は平年より少なく前年並の予報 (福井県農業試験場 5月28日公表)</p>
長野	<p>(育苗) ・低温傾向により出芽が遅れ、被覆資材の期間が長引き一部にカビが発生したという報告もある。 (松本農業改良普及センター 平成27年作物技術普及情報第5号) ・田植え作業が本格化。育苗ハウス内の高温対策としてハウスの換気を十分行うよう指導 (松本農業改良普及センター平成27年作物技術普及情報第6号)</p>	<p>・5月中旬～6月中旬のニカメイチュウの発生量はやや少、ツマグロヨコバイの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量は平年並～やや少と予報 (長野県病害虫防除所 5月16日公表)</p>
滋賀		<p>・葉いもちの発生時期と発生量は平年並、ニカメイガ第1世代の発生時期はやや早く発生量はやや多、イネドロオウムシの発生時期はやや早く発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生時期と発生量は平年並の予報 (滋賀県病害虫防除所 5月20日公表)</p>
兵庫	<p>(育苗) ・気温が高くなると見込まれるため、苗の温度管理に留意するよう指導。また、苗いもちと苗立枯病の発生に留意するよう指導 (兵庫県農政環境部 4月23日付)</p>	<p>・5月のばか苗及び苗立枯病の発生量は平年並の予報 (兵庫県病害虫防除所 4月30日公表)</p>
岡山		<p>・5月の細菌性苗立枯病、綿葉枯病、萎縮病の発生量は平年並、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイの発生量は少、イネミズゾウムシの発生時期はやや早く発生量は平年並の予報 (岡山県 4月30日公表)</p>
広島		
山口	<p>(田植) ・5月25日からJAあぶらんど萩管内で酒造好適米「山田錦」の田植え開始(やまぐち農林水産ネット 5月27日付)</p>	<p>・5月のほ場へのイネミズゾウムシ成虫の移動時期は平年並～やや早いと予報 (山口県病害虫防除所 5月1日公表)</p>
愛媛	<p>(育苗) ・5月は普通期水稻の育苗が始まる。中生の県奨励品種「こまる」は、ヒノヒカリに比べて発芽や苗の伸長が早いので、苗を伸ばしすぎないよう管理することを指導(愛媛県農林水産研究所 5月1日公表)</p>	<p>・6月のいもち病、ヒメトビウンカの発生量は平年並と予報 (愛媛県病害虫防除所 5月28日公表)</p>
高知	<p>(育苗・田植) ・育苗後期(4月第1.2半旬)は高温少照で経過し、苗が軟弱徒長傾向であったため、移植日、品種に関わらず、移植時の草丈は平年より長くなった。4月後半以降、天候が回復したため、生育はほぼ平年並に進んでいる。 <5月1日における各移植日、各品種の生育状況> 4月6日植え南園そだちでは、草丈、葉数、葉齢(以下生育進捗)とも平年並み 4月6日植えコシヒカリでは、平年より草丈は長く、葉数が平年並みで、生育進捗はやや遅れている 4月14日植えコシヒカリでは、平年より草丈はやや長く、葉数がやや少ないものの、生育進捗は平年並み (高知県農業技術センター 5月7日時点)</p> <p>・高知普及所管内の早期期の移植始めは3/23、ピークは4/8頃(平年より4日遅い)。移植後の植え傷みは少なかったが、天候不順による生育の遅れが目立った。育苗時期は苗立枯病の発生が非常に多く、一部でもみ枯細菌病の発生も見られた。 (高知県病害虫防除所 5月8日付)</p>	<p>・5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並と予報 (高知県病害虫防除所 5月8日公表)</p>

生育状況等	
福岡	<p>・早期水稲（コシヒカリ、夢つくし）の田植えは4月12日から始まり、4月下旬が最盛期で5月上旬ごろまで行われる。苗は病害もほとんどなく、生育良好（福岡県農林業総合試験場 4月15日付）</p>
熊本	<p>・5月の早期水稲のいもち病（葉いもち）の発生量はやや少の予報。イネミズウムシの発生量は平年並の予報。 （熊本県病害虫防除所 5月1日公表）</p>
宮崎	<p>・平成27年産早期米生育状況（4月下旬） <u>早期米の生育状況は、活着期～分けつ期を迎えている。育苗については2月上旬は平年に比べ気温が低く推移し、発芽等心配されたが、2月下旬より気温がやや高く推移したため、播種最盛期は平年並みに回復し、しっかりとした健苗の育成ができた。田植えについては、宮崎県では3月25日に最盛期を迎えた。3月下旬は気温も高くなり、安定した好天に恵まれ、田植えは平年並みの時期に行われた。田植え後の4月上旬は、天候が悪く、やや軟弱徒長気味の生育のものもあったが、強風等の被害はなく、概ね順調に生育している。葉齢は平年並み、草丈は平年より長く、葉数は平年より多くなっており、生育は平年並みからやや早い状況。（5月12日付）</u></p> <p>・早期水稲 4月20日現在の生育ステージ <u>（県全体） 活着期～分けつ前期。平年よりやや早い進度。4月上旬の日照不足により、やや軟弱徒長気味の生育となっているものが一部見られたものの、強風等の被害はなく概ね順調に生育している。</u> <u>（中部地区） 活着期～分けつ前期。平年より1日早い進度。育苗期間中は、2月上旬気温が低い日が続き発芽等心配されたが、2月下旬はやや気温が高く推移し、健苗が育成された。移植後は、日照不足の影響により、一部でやや軟弱徒長気味となっているが、概ね順調に生育している。4月14日の調査では、草丈は平年より高く、葉数も平年よりやや多く、葉齢は平年より0.2葉程度進んでいる。</u> <u>（南那珂地区） 分けつ前期で、平年より3日程早い進度。移植後の天候に恵まれ、活着は順調。4月上旬の高湿・寡照で一部、軟弱徒長気味の生育となっている。気温が高かったことで、概ね順調に生育している。葉齢は平年より1.3葉程度進んでいる。</u> <u>（児湯地区） 活着期～分けつ前期で、平年より1日早い進度。移植最盛期はほぼ平年並みの3月27日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味ではあるが、平年より気温が高く、生育はやや進んでいる状況。</u> <u>（東臼杵南部地区） 活着期で、平年並みの進度。田植え最盛期は平年並みの4月5日。4月上旬の日照量が少なく一部で軟弱徒長気味だが、平年より気温が高く、生育は順調に進んでいる状況。</u> <u>（JA宮崎経済連ホームページ「宮崎県早期米産地情報」5月12日付）</u></p>
鹿児島	<p>・6月の早期水稲のいもち病、紋枯病の発生量は平年並の予報 （鹿児島県病害虫防除所 5月27日公表）</p>

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：生産数量目標、収穫量、状況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標				収穫量（主食用） 26年産	作況指数 26年産
		平成27年産	前年産との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）		
		↑	↑	%	↑		
全 国	<p>・東・西日本no向こう1か月の気温は高い見込み。北日本の向こう1か月の気温は平年並か高い見込み。 東・西日本では、日照時間は平年並か多い見込み。（気象庁 5月28日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見通し）</p> <p>・6月は、北日本の天気は数日の周期で変わる見込み。東日本太平洋側と西日本では平年に比べ曇りや雨の日が少なく、東日本日本海側の期間の後半は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。 7月は、北日本。東・西日本では平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。 8月は、北日本。東・西日本太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込み。 東・西日本太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。（気象庁 5月25日発表）</p> <p>・昨年夏から発生しているエルニーニョ現象は、冬にいったん弱まった後、今春から再び発達しているとみられる。秋にかけて、エルニーニョ現象が続く可能性が高い（気象庁 5月12日公表）</p>	7,510,000	▲ 140,000	▲ 1.8	7,390,000	7,882,000	101
北 海 道	<p>・北海道地方の5月30日～6月29日の1か月間は、期間のはじめは気温が平年より高く、1か月間の気温は平年並か高い見込み。降水量・日照時間はほぼ平年並の見込み。（札幌管区気象台 5月28日発表）</p>	547,330	▲ 6,810	▲ 1.2	538,580	597,200	107
青 森	<p>・東北地方の5月30日～6月19日の1か月間は、前半の天気は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。 期間のはじめは暖かい空気に覆われやすく、1か月間の気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。（仙台管区気象台 5月28日発表）</p>	242,460	▲ 4,540	▲ 1.8	238,580	257,400	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 5月28日発表）	271,210	▲ 4,330	▲ 1.6	266,880	287,700	105
宮 城	同上（仙台管区気象台 5月28日発表）	348,620	▲ 14,010	▲ 3.9	343,050	379,600	105
秋 田	同上（仙台管区気象台 5月28日発表）	417,540	▲ 15,500	▲ 3.6	410,860	453,000	104
山 形	同上（仙台管区気象台 5月28日発表）	344,500	▲ 14,070	▲ 3.9	338,990	380,700	105
福 島	同上（仙台管区気象台 5月28日発表）	339,550	▲ 8,870	▲ 2.5	334,130	350,600	104
茨 城	<p>・関東甲信地方の5月30日～6月29日の1か月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。前半を中心に気温が高く、1か月間の気温も高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。（気象庁 5月28日発表）</p>	337,370	▲ 4,180	▲ 1.2	331,980	396,200	105
栃 木	同上（気象庁 5月28日発表）	298,690	▲ 10,640	▲ 3.4	293,920	313,700	100
埼 玉	同上（気象庁 5月28日発表）	151,270	▲ 1,410	▲ 0.9	148,850	169,800	102
千 葉	同上（気象庁 5月28日発表）	246,490	▲ 2,790	▲ 1.1	242,550	325,300	104
新 潟	<p>・北陸地方の5月30日～6月29日の1か月間は、前半の天候は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。気温は1週目が高く、2週目は平年並か高く、3～4週目はほぼ平年並の見込み。（新潟地方気象台 5月28日発表）</p>	521,290	▲ 14,350	▲ 2.7	512,960	576,000	101
富 山	同上（新潟地方気象台 5月28日発表）	185,650	▲ 6,690	▲ 3.5	182,680	193,100	101
石 川	同上（新潟地方気象台 5月28日発表）	123,630	▲ 2,770	▲ 2.2	121,650	123,400	98
福 井	同上（新潟地方気象台 5月28日発表）	125,460	▲ 2,670	▲ 2.1	123,460	126,000	98
長 野	<p>・関東甲信地方の5月30日～6月29日の1か月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。前半を中心に気温が高く、1か月間の気温も高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込み。（気象庁 5月28日発表）</p>	194,000	▲ 2,640	▲ 1.3	190,900	195,800	96

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t		%	t	
滋 賀	・近畿地方の5月30日～6月29日の1か月間は、前半の天候は数日の周期で変わり、後半は平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。気温は、期間のはじめはかなり高くなる可能性がある。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 <u>（大阪管区気象台 5月28日発表）</u>	160,450	▲ 2,930	▲ 1.8	157,880	157,100 97
兵 庫	同上（大阪管区気象台 5月28日発表）	180,440	▲ 1,490	▲ 0.8	177,560	177,800 97
岡 山	・中国地方の5月30日～6月29日の1か月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。1週目は気温がかなり高くなる可能性がある。2週目は平年並か高いため、向こう1か月を平均した気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 <u>（広島地方気象台 5月28日発表）</u>	158,550	▲ 1,640	▲ 1.0	156,020	153,300 94
広 島	同上（広島地方気象台 5月28日発表）	129,970	▲ 160	▲ 0.1	127,890	123,300 95
山 口	・九州北部地方（山口県含む）の5月30日～6月29日の1か月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。気温は、1週目がかなり高くなる可能性がある。2週目は平年並か高いため、向こう1か月の気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 <u>（福岡管区気象台 5月28日発表）</u>	108,760	▲ 2,060	▲ 1.9	107,020	103,800 96
愛 媛	・四国地方の5月30日～6月29日の1か月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。1週目は気温がかなり高くなる可能性がある。2週目は平年並か高いため、向こう1か月を平均した気温は高い見込み。平年に比べ曇りや雨の日が少なく、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 <u>（高松地方気象台 5月28日発表）</u>	73,920	▲ 570	▲ 0.8	72,740	73,000 98
高 知	同上（高松地方気象台 5月28日発表）	50,070	20	0.0	49,270	55,600 95
福 岡	・九州北部地方（山口県含む）の5月30日～6月29日の1か月間は、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込み。気温は、1週目がかなり高くなる可能性がある。2週目は平年並か高いため、向こう1か月の気温は高い見込み。降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 <u>（福岡管区気象台 5月28日発表）</u>	182,470	▲ 1,910	▲ 1.0	179,550	176,400 96
熊 本	同上（福岡管区気象台 5月28日発表）	189,310	▲ 610	▲ 0.3	186,290	180,500 97
宮 崎	・九州南部地方の5月30日～6月29日の1か月間は、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。期間のはじめは気温が高く、向こう1か月の気温は平年並か高い見込み。降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 <u>（鹿児島地方気象台 5月28日発表）</u>	93,600	▲ 870	▲ 0.9	92,100	84,600 98
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 5月28日発表）	111,070	▲ 470	▲ 0.4	109,290	102,300 95

参考資料:

[平成27年産米の都道府県別の生産数量目標について\(農林水産省\)](#)

[平成26年産水陸稲の収穫量\(農林水産省\)](#)

[農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道 5月20日\)、農作物生育状況 5月15日現在\(北海道空知総合振興局 5月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道石狩振興局 5月20日\)、農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道後志総合振興局 5月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道胆振総合振興局 5月20日\)、農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道日高振興局 5月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道渡島総合振興局 5月20日\)、農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道檜山振興局 5月20日\)、](#)
[農作物の生育状況 5月15日現在\(北海道上川総合振興局 5月20日\)、農作物生育状況調査の概要 5月15日現在\(北海道留萌振興局 5月20日\)、](#)
[農作物の生育と農作業の進捗状況 5月15日現在\(北海道オホーツク総合振興局 5月20日\)、平成27年度定期作況報告\(北海道道南農業試験場 5月20日\)](#)

[病害虫発生予察情報第2号5月予報\(北海道病害虫防除所 4月30日\)、](#)
[5月25日現在田植進捗状況\(青森県 5月26日\)、平成27年度病害虫発生予報第2号\(5月予報\)\(青森県病害虫防除所 4月28日\)、](#)
[作柄調査報告\(青森県産業技術センター農林総合研究所 5月25日\)、](#)
[田植への進捗状況\(5月20日調査概況速報\)について\(岩手県中央農業改良普及センター\)](#)
[平成27年度病害虫防除速報No.3水稲編-1\(岩手県病害虫防除所 5月11日\)、平成27年度病害虫発生予察情報発生予報第2号\(岩手県病害虫防除所 4月30日\)、](#)
[平成27年産水稲の田植進捗状況について\(5月6日現在\)\(宮城県農林水産部 5月8日\)、平成27年度発生予察情報発生予報第3号-水稲\(宮城県病害虫防除所 5月22日\)、](#)
[生育状況の情報\(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 5月22日\)、](#)
[平成27年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号\(6月予報 5月28日\)、注意報第1号\(5月21日\)\(秋田県病害虫防除所\)、](#)
[稲作だより第4号本田初期編\(山形の米日本一推進運動最上総合支庁 5月11日\)、おきたま米づくり情報No.3\(置賜総合支庁農業技術普及課西置賜農業技術普及課 5月11日\)、](#)
[おいしい米づくり情報第4号\(庄内総合支庁農業技術普及課 5月1日\)、つや姫だより第3号\(村山総合支庁北村山農業技術普及課 5月8日\)、](#)
[酒田・飽海米づくり情報第3号・酒田飽海つや姫情報第2号\(庄内総合支庁酒田農業技術普及課 5月1日\)、](#)
[おいしい米づくり情報第3号育苗後編\(山形の米日本一推進運動村山地域本部・村山農業技術普及課 4月30日\)、](#)
[平成27年度農作物有害動植物発生予察情報発生予報第3号\(6月\)\(山形県病害虫防除所 5月27日\)、](#)
[主要な農作物の生育情報平成27年度第2号\(福島県農林水産部 5月11日\)、平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第1号\(4月\)\(福島県病害虫防除所 4月24日\)、](#)
[病害虫発生予報5月号\(茨城県病害虫防除所 4月28日\)、](#)
[平成27年度病害虫発生予報第2号\(栃木県農業環境指導センター 5月22日\)、](#)
[平成27年度スポット情報\(埼玉県ホームページ 4月27日\)](#)
[平成27年度病害虫発生予報第2号\(6月予報\)\(埼玉県病害虫防除所 5月28日\)、](#)
[水稲の生育状況と当面の対策臨時報\(千葉県農林水産部 5月22日\)、平成27年度病害虫発生予報第2号\(千葉県病害虫防除所 5月14日\)、](#)
[5月の技術対策\(新潟県農林水産部 4月28日\)、水稲の生育状況と今後の管理対策第1号\(新潟県農林水産部 5月29日\)、](#)
[新発田地域水稲育成速報No.1\(新発田農業普及指導センター 5月28日\)、新潟稲作速報No.1\(新潟農業普及指導センター 5月28日\)、](#)
[水稲生育速報\(長岡農業普及指導センター 5月28日\)、FAX稲作速報\(三条農業普及指導センター 5月28日\)、](#)
[稲作管理情報1\(柏崎農業普及指導センター 5月30日\)、](#)
[水稲生育速報\(5月28日\)\(上越農業普及指導センター、上越東農林事務所\)、](#)
[平成27年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第2号\(5月の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所 4月30日\)、](#)
[TACS情報第1号・\(富山県農業技術課広域普及指導センター 5月26日\)、病害虫発生予報第2号\(富山県農林水産総合技術センター 5月1日\)、](#)
[平成27年産水稲の生育状況と今後の対策\(水稲生育診断技術確立調査-1号\)\(石川県農林総合研究センター 5月18日\)、](#)
[病害虫発生予報第2号\(石川県農林総合研究センター 5月28日\)、](#)
[稲作情報No.3\(福井県水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月22日\)、平成27年農作物病害虫発生予察予報第4号\(福井県農業試験場 5月28日\)、](#)
[平成27年度作物技術普及情報第5号・第6号\(長野県松本農業改良普及センター\)、病害虫発生予報第2号\(長野県病害虫防除所 5月16日\)](#)
[平成27年病害虫発生予報第3号\(滋賀県病害虫防除所 5月20日\)、](#)
[平成27年度兵庫県農業気象技術情報第1号\(5月情報\)について\(兵庫県農政環境部 4月23日\)、平成27年度病害虫発生予察予報第1号\(兵庫県病害虫防除所 4月30日\)、](#)
[平成27年度病害虫発生予報第2号\(岡山県病害虫防除所 4月30日\)、](#)
[新着ニュース\(やまぐち農林水産ネット 5月27日\)、イネのイネミズノウムシ発生予測\(山口県病害虫防除所 5月1日\)、](#)
[気象情報に基づく技術対策・作物\(愛媛県農林水産研究所 5月1日\)、病害虫発生予報\(6月\)\(愛媛県病害虫防除所 5月28日\)、](#)
[平成27年度における早期水稲の生育状況\(5/7時点\)\(高知県農業技術センター\)、](#)
[平成27年度病害虫発生予察4月月報・平成27年度病害虫発生予察予報第2号\(5月\)\(高知県病害虫防除所 5月8日\)、](#)
[福岡県の主な農作物の生産状況\(福岡県農林業総合試験場 4月15日\)、平成27年度病害虫発生予報第2号\(5月予報\)\(熊本県病害虫防除所 5月1日\)、](#)
[平成27年産宮崎県早期米産地情報\(平成27年4月20日現在\)・平成27年産早期米生育状況\(宮崎経済連ホームページ\)http://www.miyazaki-cha.jp/kome/index.html 5月12日\)](#)
[平成27年度病害虫発生予報第1号\(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月28日\)、](#)
[平成27年度病害虫発生予報3号\(鹿児島県病害虫防除所 5月27日\)、](#)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(気象庁)、北陸地方こう1か月の天候の見通し(新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(広島地方气象台)、四国地方こう1か月の天候の見通し(高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方气象台)